

放射線治療計画における逐次近似応用再構成法の有用性に関する研究

研究の対象となる方

2021年2月10日から2021年5月26日までの期間に、当院において左乳癌術後放射線治療を行い、そのうち深吸気息止め照射（DIBH）が適応であった患者さん

目的・方法

現在、CT画像の質を損ねることなく被ばく線量を低減させる、逐次近似応用再構成法と呼ばれる新たな撮影法が登場しています。当院では、診断領域では広く利用しており、今後、放射線治療領域への本格的な導入を検討しています。

本研究では、DIBHでの診療過程で撮影する逐次近似応用再構成法による画像を用いて放射線治療に携わる医師・診療放射線技師による視覚評価を実施し、この撮影法の有用性を示すことを目的とします。

本研究では診療で得られた画像情報のみを使用し、対象となる患者さんのご負担はなく、また治療計画への影響も生じていません。

研究期間

2021年7月27日～2021年8月31日

研究に使用する情報

治療計画 CT画像

情報管理について

本研究で画像を取り扱う場合は、個人情報には匿名化し、第三者には一切わからない形で使用します。画像や患者さんの個人情報は研究終了まで厳重に管理し、研究者が研究の実施に必要な場合のみ使用します。外部への提供や持ち出しは行いません。

研究結果は学会等で発表させていただく可能性があります。その際も個人情報を特定する情報は公表しません。

お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先	済生会熊本病院 中央放射線部 本田美貴（研究責任者） 住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)
-----	---

以上